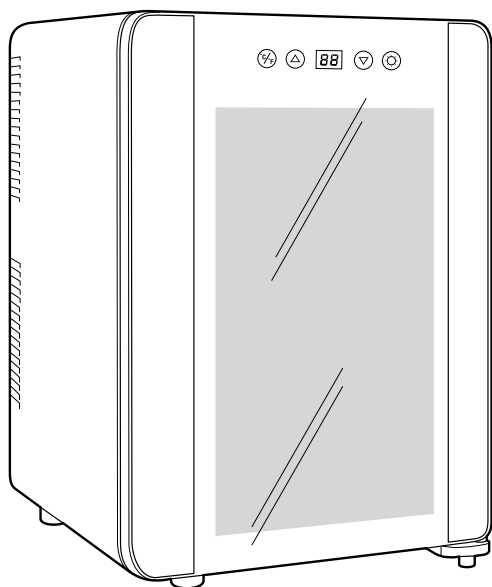


siroca

12本収納ワインセラー SW-P121 取扱説明書

保証書つき



このたびは siroca 12本収納ワインセラー SW-P121 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

ご使用になる前に

安全上のご注意 2

各部のなまえと使いかた ... 5

ワインセラーの準備 7

使いかた

ワインの保存方法 9

加湿トレーについて 10

庫内の結露について 11

ご愛用の手引き

お手入れ 12

こんなときは 13

故障かなと思ったら 14

仕様 16

アフターサービス 17

お客様相談窓口 17

保証書 20

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならない
でください。

日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN


※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。


安全上のご注意

必ずお守りください


ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。なお万が一、停電・本機の故障・取り扱い不良によるワインの劣化などがありましても、ワインそのものの補償はいたしかねますので、予めご了承ください。


●表示の説明

 **警告** 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 **注意** 取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。


●図記号の説明


 : 禁止 (してはいけない内容) を示します。


 : 強制 (実行しなくてはならない内容) を示します。


警告


◆ 設置上の警告 ◆

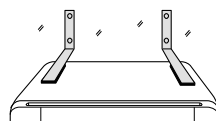
 **電源プラグをワインセラー背面に押し付けない**
電源プラグが傷つき、火災の原因になります。


 **屋外、風呂場やシャワー室、洗いの近くなど、湿気の多いところや水のかかるところに設置しない**
湿気はサビや故障の原因になります。また、火災や感電の原因になります。

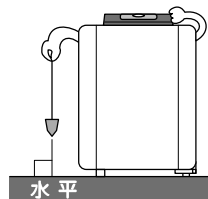
 **本体を仰向け・横倒し・逆さまにしない**
故障やケガの原因になります。


 **加湿トレーに水が入ったまま本体を移動させない**
水もれし、漏電・感電の恐れがあります。

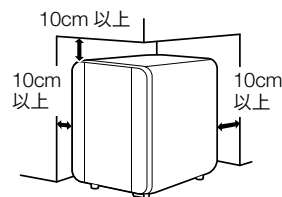
 **転倒防止の処置をする**
地震の際などの振動により転倒し、ケガをする恐れがあります。市販の家具用転倒防止ベルトなどで、丈夫な壁や柱に固定してください。




 **丈夫で水平な床面に置く**
不安定なところに置くと、転倒してケガをする恐れがあります。調整脚を回して、高さを調節することができます。

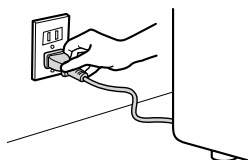



 **本体の周囲に放熱スペースを空ける**
庫内温度を一定に保つため、排気口(側面)から熱を放出します。上部、左右、背面を10cm以上空けてください。





◆ 電源プラグの抜き差しについての警告 ◆

 **電源プラグは、コードが水平または下向きになるように差し込む**
コードに無理な力がかかり、火災や感電の原因になります。



 **傷んだコードや電源プラグ・コンセントの差し込みが緩いときは使用しない**
火災や感電の原因になります。

 **交流100V以外のコンセントに接続しない**
他の電源に接続すると、故障や発火の原因になります。

 **タコ足配線や延長コードの使用は避ける**
火災や感電の原因になります。

警告

◆ 電源プラグの抜き差しについての警告 ◆



プラグを抜く

異常時（焦げ臭いなど）や故障のときは電源プラグを抜く

煙が出たり、異常なおいや異音が出るような場合は、すぐに使用を停止して電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。異常のまま使用を続けると、火災や感電、ケガの原因になります。



プラグを抜く

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

火災や漏電、感電、ケガの原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、火災や感電、断線の原因になります。



プラグを抜く

製品に異常（作動しないなど）が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜く

感電、漏電、ショートなどによる発火・火災の恐れがあります。弊社に修理をご依頼ください。

◆ 使用上の警告 ◆



分解禁止

修理・分解・改造をしない

発火や異常動作をして、破損やケガの原因となることがあります。修理はサポートセンターにご連絡ください。



禁止

ワインセラーの上に物を置かない

落下してケガをしたり、水がこぼれて漏電や火災の原因になります。



水ぬれ禁止

本体や庫内に水をかけない

火災や感電、故障の原因になります。



禁止

電源コードに無理のかかることをしない

束ねたり折り曲げたり、重いものをのせたりすると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

背面のファン内部に手を触れない

やけどやケガの原因になります。



禁止

背面のファン内部にピンやクリップなどの異物を入れない

火災や感電、故障の原因になります。



禁止

前方に傾けない

ドア開閉時などにワインが落下し、故障やケガの原因になります。



禁止

ワイン棚を取りはずして、ワインを積み重ねない

ドア開閉時などにワインが落下し、故障やケガの原因になります。



禁止

電源コードの近くにワインを置かない

ワインの瓶が割れて電源コードにかかると、火災や感電の原因になります。



禁止

ドアを閉めるときはドア上部の取っ手部分を持って閉める

指をはさんでケガをする原因になります。



禁止

ドアのガラスに物を当てたり力を加えたり、乱暴な開閉をしない

ガラスが破損して、ケガの原因になります。



接触禁止

底面に手や足を入れない

ケガの原因になります。



禁止

ワインを不安定な状態で保存しない

ドア開閉時などにワインが落下し、故障やケガの原因になります。



禁止

お子様のイタズラに注意する

ドアにぶらさがったり上に乗ったりしないでください。ケガや感電の恐れがあります。また、犬や猫などの生き物を中に入れないでください。



禁止

可燃性スプレーを近くで使わない

引火して火災の原因になります。



接触禁止

ガスもれ時は、本体や電源プラグに触れず換気する

引火して爆発や火災、ケガややけどの原因になります。

◆ お手入れについての警告 ◆



ほこりは定期的に取り除く

電源プラグにほこりが付着すると、火災や故障の原因になります。



プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグを抜く

感電やケガの原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグに触れない

感電の原因になります。手がぬれているときは、よく拭いてから電源プラグに触れてください。



禁止

引火しやすいものを入れたり、それを使って拭いたりしない

アルコールやシンナーなどの薬品を使ってお手入れをすると、爆発などの事故の原因になります。また、塗装を傷つけたりプラスチックを傷めます。

警告

◆ ご不要になった際の取り扱いについての警告 ◆



本製品が不要になったときは、家電リサイクル法に基づいて処理する

本製品は、家電リサイクル法の対象製品です。ご不要の際は、家電リサイクル法に基づいて、小売業者への引き渡しを行ってください。なお、廃家電の引き取り（収集・運搬料金と再商品化料金）には、別途料金がかかります。



リサイクルに出すときはワイン棚を所定の位置に入れる

子どもが入り込む恐れがあります。



ガレージなどに放置しない

子どもが入り込む恐れがあります。

禁止



リサイクルに出すときはドアパッキンをはずす

子どもが閉じ込められる恐れがあります。

注意

◆ 設置上の注意 ◆



ガレージや地下室、屋外に設置しない

この製品は室内で使用するように設計されています。

禁止



ラジオやテレビ、コードレス電話などの近くに設置しない

これらの近くに設置すると、ラジオやテレビ、コードレス電話などに雑音が入ったり、受信状態が悪くなる場合があります。

禁止



押し入れや本箱など、風通しの悪い場所に押し込まない

禁止



テーブルクロスやカーテンなどを掛けない

禁止



周辺温度が 10 ~ 26℃のところに設置する

この範囲外の場合、性能に影響することがあります。



床に直接置かず、丈夫な板などの上に置く

じゅうたん、カーペット、ビニールタイル、畳、布団、フローリングなどの上に直接置くと、あとが付いたり熱により変色することがあります。丈夫な板を置いて、その上に設置してください。

また、設置環境によっては、庫内の結露が激しくなり、本体底面の露受皿から水がもれる場合があります。床面を水ぬれから保護するために、防水性のある板（またはトレイ）などを置いて、その上に設置してください。



直射日光や熱気の当たらないところに設置する

冷却力の低下を抑え、電気代のムダを防ぎます。

◆ 電源プラグ抜き差しについての注意 ◆



電源プラグを抜いたときやブレーカーが切れたときは、5分以上待ってから入れ直す

すぐに入れると、故障の原因になります。

◆ 使用上の注意 ◆



ワイン以外は保存しない

温度や湿度がワイン専用を設定されています。その他の食品や、医薬品、学術試料など温度管理の厳しいものは保存できません。また、ワインの品質低下の原因にもなります。



ワインは指定のサイズ（高さ 30cm まで）のものを入れる

サイズの合わないワインを入れると、落下して故障やケガの原因になります。

禁止

◆ お手入れについての注意 ◆



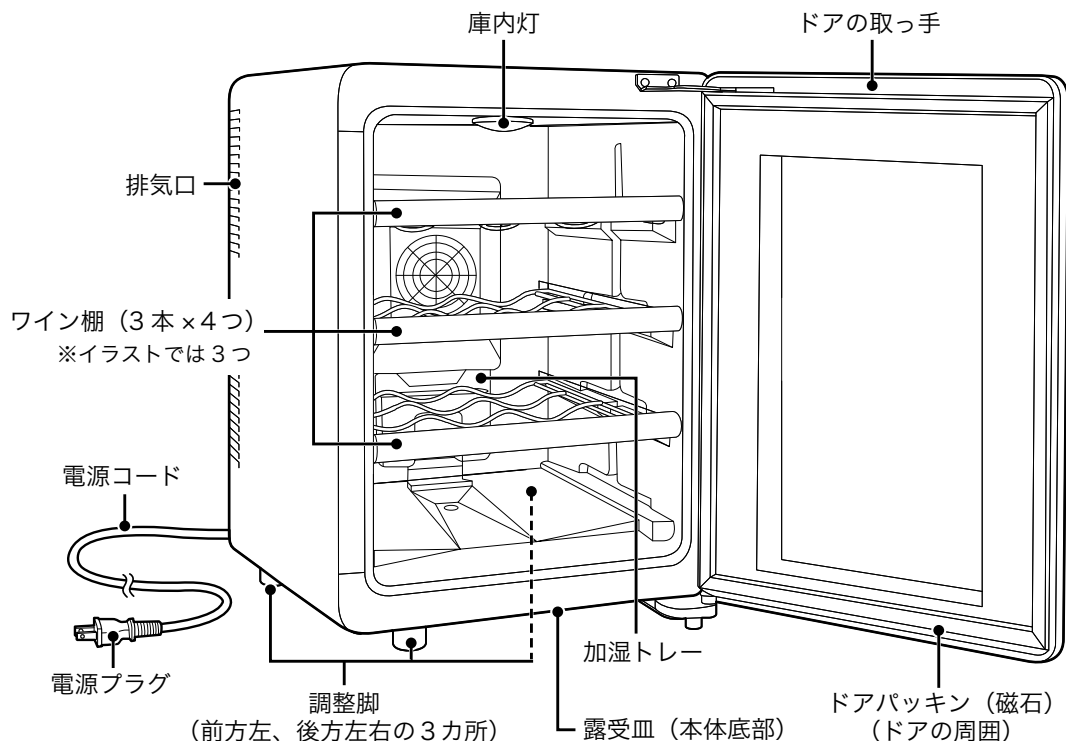
本体を水や洗剤に浸さない

故障の原因になります。

水ぬれ禁止

各部のなまえと使いかた

ワインセラー 庫内

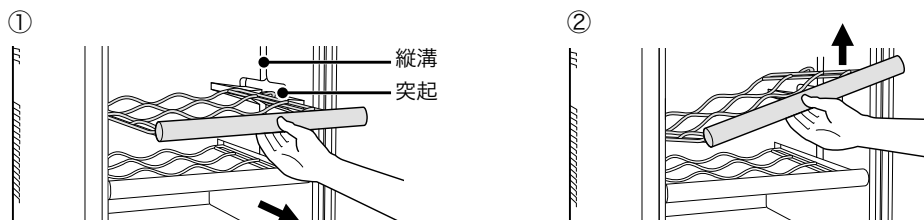


ワイン棚のつけはずし

取りはずしかた

一番上の段から順番にワイン棚を取りはずします。

- ① ワイン棚両端の突起が、棚用の横溝と庫内側面にある縦溝が交差するところに入るまでワイン棚を引き出します。
- ② ワイン棚の片側の突起を、縦溝に沿って持ち上げながらはずします。



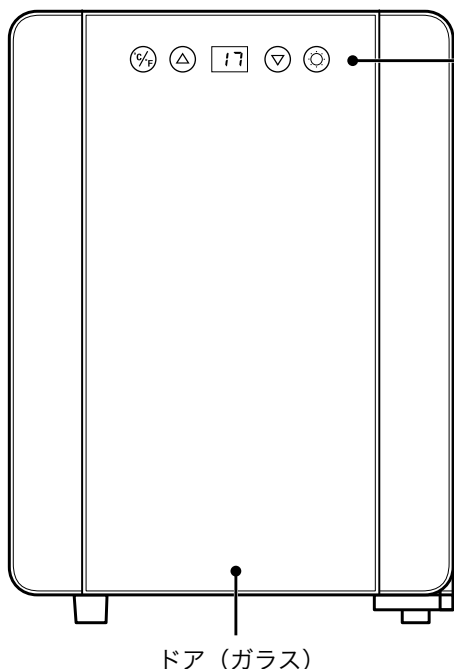
取り付けかた

ワイン棚を取り付けるときは、取りはずしと逆の順番に一番下の段から取り付けます。

- ① ワイン棚を斜めにしながら庫内に入れ、片側の突起を横溝と縦溝が交差するところに合わせます。
- ② 反対側の突起を縦溝に沿って滑らせながら、横溝と交差するところまで引き下ろします。
- ③ ワイン棚を奥までしっかりと押し込みます。

各部のなまえと使いかた

ワインセラー ドア



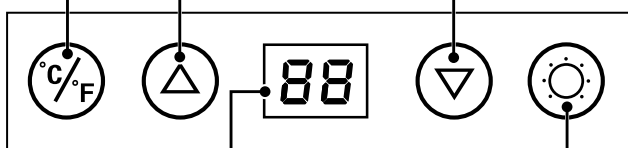
温度調節パネル

摂氏（°C）／華氏（°F） 切替ボタン

摂氏と華氏の表示を
切り替えます。

温度調節ボタン

押すごとに、1度ずつ温度を
調節できます。摂氏 10～
18°Cの間に設定できます。



現在の温度（点灯時）／設定温度（点滅時）

通常は、現在の温度が表示されています（点灯）。

温度調節時（ を押しているときは、
設定温度が表示されます（点滅）。

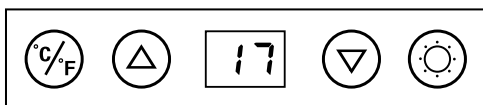
庫内灯スイッチ

庫内灯の点灯／消灯
を切り替えます。

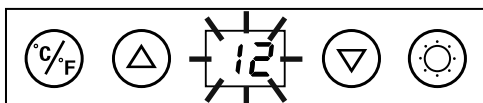
温度調節のしかた

例：12°Cに設定する場合（現在の温度は17°C）

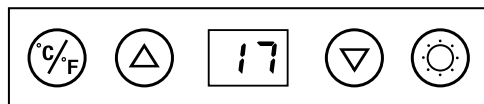
- ① 現在の温度が点灯表示されています。



- ② を押して、設定したい温度が点滅表示されるようにします。



- ③ しばらくすると、現在の温度表示（点灯表示）に戻ります。



※ 約2時間で設定温度に達します。

※ 設定温度を確認するには、 または を1回押します。

ワインセラーの準備

ワインセラーを設置する



設置してはいけないところ

以下の場所には設置しないでください。

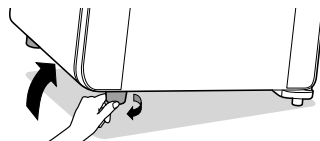
- ※ 風呂場や洗い場の近くなど、湿気の多いところや水のかかるところ（火災・感電・故障の原因）
- ※ ガレージや地下室などの室外（故障の原因）
- ※ 直射日光や熱気の当たるところ（冷却能力の低下や、庫内の結露の原因）
- ※ ラジオやテレビ、コードレス電話などの近く（雑音が入るなどの受信障害の原因）
- ※ 周辺温度が低すぎる（10℃未満）または高すぎる（26℃超）ところ（冷却能力の低下や、庫内の結露の原因）

1 床に直接置かず、丈夫な板などを敷く

- じゅうたん、カーペット、ビニールタイル、畳、布団、フローリングなどの上に直接置くと、あとが付いたり熱により変色することがあります。丈夫な板を置いて、その上に設置してください。
- また、設置環境によっては、庫内の結露が激しくなり、本体底面の露受皿から水がもれる場合があります。床面を水ぬめれから保護するために、防水性のある板（またはトレー）などを置いて、その上に設置してください。

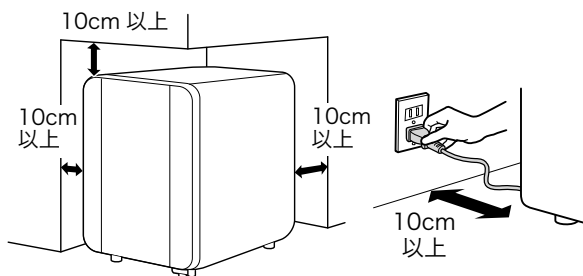
2 丈夫で水平な床面に置く

- 安定した床面に設置します。
- 調整脚を回して、高さを調節することができます。



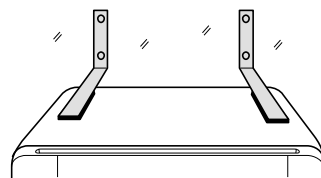
3 本体の周囲に放熱スペースを空ける また、電源プラグをワインセラー背面 に押し付けないようにする

- 庫内温度を一定に保つため、排気口（側面）から熱を放出します。上部、左右、背面を10cm以上空けてください。



4 転倒防止の処置をする

- 地震の際などの振動により転倒し、ケガをする恐れがあります。
市販の家具用転倒防止ベルトなどで、丈夫な壁や柱に固定してください。



5 設置場所が決まったら、電源コードを差す前に、2時間ほど置いておく

- 輸送中の振動などによって冷却装置に不調をきたす場合があります。
2時間ほど置いておくことで安定させることができます。

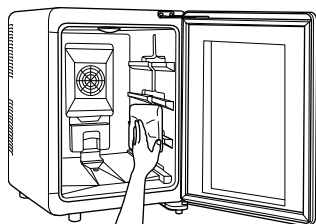
ワインセラーの準備

ワインセラーを運転させる

1

庫内をきれいに拭く

- ぬるま湯を布に含ませて、庫内を拭きます。汚れがひどいときは、食器洗い用中性洗剤を薄めて布に含ませ拭いてください。
- そのあと必ず水を含ませた布で拭き取り、さらに乾拭きしてください。



2

加湿トレーを庫内に取り付ける

- 加湿トレーは必ず取り付けてください。
- 加湿トレーは、冬期間など外気の湿度が低いときだけ水を入れてください。(⇒加湿トレーについて詳しくは10ページを参照)

3

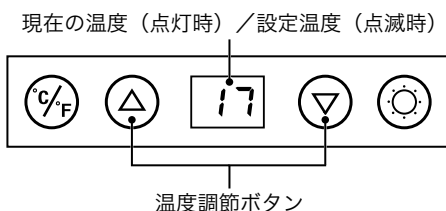
電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグは、コードが水平または下向きになるように差し込みます。
- タコ足配線や延長コードの使用は避けてください。

4

ドアの上部にある温度調節パネルで、庫内の温度を設定する

- 中央の点灯表示されている温度が、現在の温度です。△▽を押して、設定したい温度が点滅表示されるようにします。
- 設定後しばらくすると、現在の温度表示（点灯）に戻ります。



※ 庫内温度が21℃以上の場合、20℃になるまでは現在の温度は点滅表示します。20℃以下になると点灯表示になります。

5

設定温度に達してから、ワインを入れる

- 設定温度まで達するのに約2時間かかります。

ワインの保存方法

庫内温度について

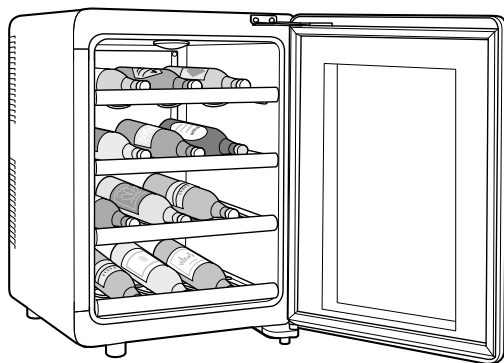
- 本製品は、ペルチェ方式のワインセラーです。周辺温度が10℃～26℃の環境に対応しています。以下の点にご注意ください。
 - ※ 周辺温度が10℃未満／26℃超の場合や、周辺温度と設定温度の差が大きい場合、設定温度まで下がらないことがあります。
 - ※ 庫内を温める機能は搭載しておりません。周辺温度よりも高い温度に設定した場合、庫内が設定温度に達しないことがあります。
- 設置後の庫内温度が希望温度に達してから、ワインを入れてください（約2時間かかります）。
 - ※ ゆっくり冷却するため、設定温度に達するまで時間がかかることがあります。（周辺温度など外部の条件によって、2時間～1日かかる場合があります）
- 設置後、庫内温度が21℃以上の場合は、20℃になるまでは温度調節パネルの数字が点滅します。20℃になると、通常表示になります。
- 庫内温度が21℃以上になると、温度調節パネルの数字が点滅し、異常を伝えます。

1
1 瓶を乾拭きする

2
2 長期間保存する場合は、ラベルにラップをかける

- こうすることで、ラベルが空気に触れないようになり、カビの発生を防ぐことができます。

3
3 ラベルを上、瓶の口を手前にして、ワインを入れる



- ※ 庫内や棚にカビが発生することがありますので、定期的に乾拭きしてください。
- ※ ワインは収納本数（3本×4段）どおりに収納してください。積み重ねたり大きなサイズの瓶を入れたりすると、ドアのガラスに当たり、危険です。

加湿トレーについて

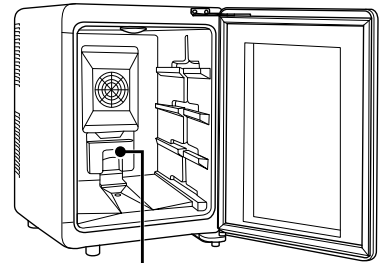
コルク栓の縮みを防ぎ、ワインの酸化を防止するためには、ワインセラー庫内に適度な湿度が必要です。冬場などの乾燥しているときは、加湿トレーを使用すると庫内の湿度を保つことができます。



- ※ 加湿トレーは、冬期間など外気の湿度が低いときだけ水を入れてください。湿度が高くなりすぎると、カビが発生したり、ドアの内側やワインのビンに露が付きやすくなります。
- ※ 加湿トレーに水を入れて使用しているときに、ワインのビンやドアの内側に露が付く場合は、庫内の湿度が高くなりすぎています。この場合は、加湿トレーの水を捨ててください。
- ※ 夏期間など、湿度が高いときは、庫内で発生した露が加湿トレーにたまりますので、定期的に加湿トレーを確認し、水がたまっていたら捨ててください。
- ※ 加湿トレーは、必ず取り付けてください。取り付けずに使用すると、結露した水をためることができず、本体底面から水がもれ出てきますのでご注意ください。

1 ワイン棚をすべて取りはずし、内部奥にある加湿トレーを取り出す

- ※ 加湿トレーは、ワイン棚をすべて取りはずさないで取り出せません。
- ⇒ ワイン棚の取りはずし方法については、5ページをご覧ください。



加湿トレー

2 加湿トレーに適量の水を入れる

- ※ 水道水以外は入れないでください。
- ※ 少量の水で十分に加湿できます。水を入れすぎないようにしてください。

3 加湿トレーを内部奥に取り付ける

- 加湿トレーはしっかりと奥まで差し込んでください。



※ 本製品は、庫内の水分により適度な湿度を保つ仕組みになっております。自動的に庫内の湿度を加湿調整する機能はございません。

庫内の結露について

設置環境や季節（高温多湿の時期など）により、庫内に過剰に結露が発生する場合があります。

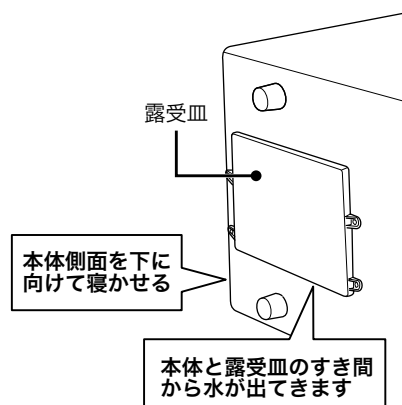
庫内で発生する結露は、加湿トレーまたは庫内底部にある穴を通して、本体底面にネジ4本で固定されている露受皿にたまる仕組みになっています。



- ※ 高温多湿の時期（とくに夏場）にご使用される場合は、結露が起こりやすいため、ご注意ください。庫内で発生した露は加湿トレーにたまりますので、定期的に加湿トレーを確認し、水がたまっていたら捨ててください。
- ※ 本体を移動する際は、露受皿から水がこぼれる場合がありますので、水抜きをしてから移動してください。
⇒ 水抜きのしかたは、下記を参照してください。

水抜きのしかた

- ① 電源プラグをコンセントから抜きます。
- ② ワインをすべて取り出し、ワイン棚をすべて取りはずします。
⇒ ワイン棚の取りはずしかたは、5ページをご覧ください。
- ③ 加湿トレーを取りはずします。
⇒ 加湿トレーの取りはずしかたは、10ページをご覧ください。
- ④ 大きめのタオルや新聞紙などを敷いて、その上に本体を静かに横向きに寝かせます。
※ 右図のように寝かせてください。露受皿から流れ出てくる水にご注意ください。
- ⑤ 露受皿から水が出なくなるまで待ち、水をすべて抜いたら、本体と露受皿をしっかり拭いてください。



お手入れ

お手入れはこまめに行ってください。

年に1度は電源プラグを抜き、庫内の清掃と電源プラグの点検を行ってください。



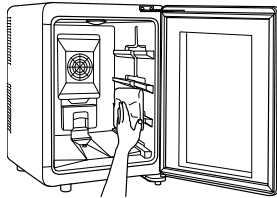
- ※ お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- ※ ぬれた手で触れないでください。
- ※ 本体や庫内に水をかけないでください。
- ※ 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわし・研磨剤付き不織布は使用しないでください。表面を傷つける原因となります。
- ※ 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。表面を傷つける原因となります。
- ※ 庫内には化学ぞうきんを使用しないでください。その他の部分は、化学ぞうきんの注意書きにしたがって使用してください。
- ※ 油が付着したときは、必ず拭き取ってください。

1 電源プラグを抜く

2 各部を適切な方法で清掃する

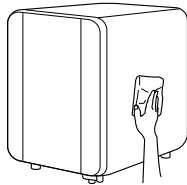
庫内

ぬるま湯を布に含ませ、拭きます。汚れがひどいときは、食器洗い用中性洗剤を薄めて布に含ませ拭いてください。そのあと必ず、水を含ませた布で拭き取り、さらに乾拭きしてください。



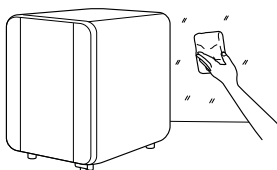
本体外側

中性洗剤をぬるま湯で薄めたものを布に含ませ、拭きます。そのあと必ず、水を含ませた布で拭き取り、さらに乾拭きしてください。



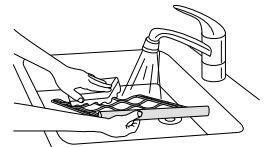
本体背面や壁

たまったほこりを拭き取ります。



ワイン棚

取り出して、水洗いします。そのあと、水気をしっかり拭き取ってください。

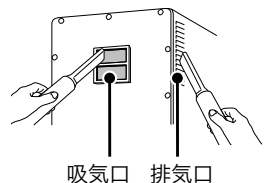


加湿トレー

定期的に取り出して、たまった水を捨てます。汚れがひどいときは水洗いし、そのあと、すぐに水気をしっかり拭き取り、取り付けてください。夏期間など、湿度が高いときは、庫内で発生した露が加湿トレーにたまりやすいため、定期的に加湿トレーを確認し、水がたまっていたら捨ててください。

吸・排気口、フィルター

掃除機で汚れやほこりを吸い取ります。吸・排気口、フィルターなどは、目詰まりすると冷却力が低下します。2～3カ月に1回チェックして清掃してください。



吸気口 排気口

こんなときは

長期間使わないとき

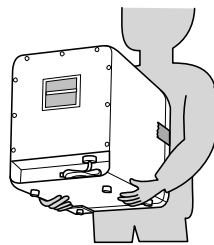
電源プラグを抜いて、庫内を乾拭きし、2～3日ドアを開けておきます。こうすることで、カビやおいの発生を防げます。

停電したとき

ドアを開けると庫内温度が高くなってしまいます。ドアの開閉は少なくし、ワインの出し入れを控えます。

運搬するとき

- ワインをすべて取り出します。
- 取り出せる部品（ワイン棚、加湿トレー）はすべて庫内に取り付けて、テープで固定します。
- 調整脚が損傷しないように、短くして底面に収めます。
- ドアをテープで固定します。
- 運搬中は、ワインセラーが水平を保った状態になるようにします。



運搬時の注意

- ※ ワインを入れたまま移動するのは避けてください。
- ※ ワインセラーの底面を両手で持って、水平に運んでください。
- ※ 持ち運びの際、本体底面に固定されている露受皿から水が流れ出る可能性がありますのでご注意ください。なお、露受皿にたまった水を捨てる場合は、11ページを参照し、水抜きを行ってください。
- ※ 車などに載せるときは横積みしないでください。
- ※ ケガをしないように注意してください。

ご不要になったとき

- 子どもが入り込む危険があるため、ドアパッキンをはずします。
- ワイン棚を所定の位置に入れます。
- ガレージなどに長期間放置しないでください。



処分するときの注意

- ※ ご使用済みのワインセラーを処分される場合、家電リサイクル法に基づく廃家電の引き取り（収集・運搬料金と再商品化料金）に別途料金がかかります。

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

以下のようなときは、故障ではない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。
それでも不具合が解消しない場合は、サポートセンターにご連絡ください。

こんなとき	ご確認くださいこと・直しかた
温度調節パネルに表示が出ない	電源プラグが抜けていませんか？ ⇒コンセントに電源プラグを確実に差し込んでください。
	本体をリセットすることで改善する場合があります。電源プラグをコンセントから抜いて、5分以上時間を置いてから、差し直してください。それでも改善しない場合は、サポートセンターにご連絡ください。
全く冷えない	電源プラグが抜けていませんか？ ⇒コンセントに電源プラグを確実に差し込んでください。
	ヒューズやブレーカーが切れていたり、停電ではありませんか？
よく冷えない 設定温度にならない	ワインセラーに、直射日光やストーブの熱が当たっていませんか？
	周辺温度が低すぎる（10℃未満）、または高すぎる（26℃超）ところに設置していませんか？
	設定温度が低すぎませんか？ ⇒周辺温度と設定温度の差が大きい場合、設定温度まで下がりにくい場合があります。
	庫内を温める機能は搭載しておりません。周辺温度よりも高い温度に設定した場合、庫内が設定温度に達しないことがあります。
	半ドアになっていませんか？
	ワインを詰めすぎたり、ドアをひんばんに開けていませんか？
	本体の周囲に十分なスペースを取っていますか？ ⇒上部、左右、背面を10cm以上空けてください。
	電源を入れてから十分に時間が経っていますか？ ⇒外部の条件によっては、冷え始めるまでに1日ぐらいかかることがあります。
	吸気口や排気口に、ほこりが詰まっていますか？ ⇒吸気口、排気口、フィルターなどは目詰まりすると冷却力が低下します。12ページをご覧ください、2～3カ月に一度チェックして清掃してください。
	吸気口や排気口が、シートなどでふさがれていませんか？
温度表示が華氏になっていませんか？ ⇒温度調節パネルの摂氏／華氏切替ボタンで摂氏（℃）の表示に切り替えてください。	
庫内灯がつかない	温度調節パネルの庫内灯スイッチを押しましたか？ ⇒庫内灯は、庫内灯スイッチで点灯／消灯を切り替えます。
	本体をリセットすることで改善する場合があります。電源プラグをコンセントから抜いて、5分以上時間を置いてから、差し直してください。それでも改善しない場合は、サポートセンターにご連絡ください。

こんなとき	ご確認いただくこと・直し方
音がうるさい	しっかりした床に水平に設置してありますか？
	脚ががたついていませんか？ ⇒脚の高さを調節して、がたつかないようにしてください。
	ワインセラーにももののがのっていたり、後側が壁などに当たっていたり、周囲にお盆や容器などが落ちていませんか？
	吸気口や、庫内のファンに、ほこりや異物が付いていませんか？
庫内から音がする	温度変化によって部品がきしむ音です。
庫内に大量の露が付く	ドアをひんばんに開けたり、長時間開けたままにしていますか？ ⇒乾いた布で庫内の露を拭き取り、ドアをきちんと閉めて様子を見て下さい。
	周囲温度が高いときや、湿度が高いときに大量の露がつくことがあります。結露が激しいときは、乾いた布で庫内の露をこまめに拭き取ってください。
	夏期間など、湿度が高いときに加湿トレーに水を入れていませんか？ ⇒加湿トレーは、冬期間など外気の湿度が低いときだけ水を入れてください。
ドアがきちんと閉まらない	しっかりした床に水平に設置してありますか？
	ワイン棚の位置がずれていませんか？
	指定のサイズ（高さ 30cm まで）以外の瓶が入っていませんか？
	瓶が奥まできちんと入っていますか？
	ドアパッキングが弱くなっていませんか？
本体から水がもれる	加湿トレーを取りはずした状態で使用していませんか？ ⇒庫内に結露した水が加湿トレーにたまる構造のため必ず取り付けてください。
	次のような使いかたは、庫内に多量の結露が発生し、水もれにつながる恐れがあります。 ・ 設置してはいけないところ（7 ページを参照）で使用している。 ・ ひんばんにドアの開け閉めを行っている。半ドアになっている。 ・ 冬場以外の時期に、加湿トレーに水を入れて使用している。 ・ 室内が高温の時期に、設定温度を低く設定している。
	加湿トレーの水があふれるまでたまっていますか？ ⇒夏期間など、湿度が高いときは、庫内の結露が激しくなり、加湿トレーに水がたまりやすくなります。定期的に加湿トレーを確認し、水がたまっていたら捨ててください。
温度調節パネルの温度表示が点滅しつづける	庫内温度が 21℃ 以上の場合は、20℃ になるまでは温度調節パネルの現在温度の表示が点滅します。20℃ になると、点灯になります。
	庫内が十分に冷えているのに温度表示が点滅している場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、5 分以上時間を置いてから、差し直してください。それでも改善しない場合は、サポートセンターにご連絡ください。
温度調節パネルに L0 と表示される	本体をリセットすることで改善する場合があります。電源プラグをコンセントから抜いて、5 分以上時間を置いてから、差し直してください。それでも改善しない場合は、サポートセンターにご連絡ください。

仕様

品名（型番）	12本収納ワインセラー（SW-P121）
電源	交流 100V 50/60Hz
最大消費電力	90W
消費電力	70W
質量（約）	12kg
外形寸法（約）	幅 34× 奥行 50× 高さ 47.5cm
内容量	35L
収納本数	12本
温度制御範囲	10～18℃（周囲温度が10℃～26℃の場所に設置した場合）
電源コードの長さ（約）	1.85m
原産国	中国

※ 庫内の冷却能力は周囲温度より最大で約-16℃となります。周囲温度が30℃の場合は設定温度が10℃でも庫内温度は14℃となります。



この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

長年ご使用のワインセラーの点検を！

- ※ 定期的に「安全上のご注意」や「使用上のお願い」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- ※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- ・ シロカ株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- ・ 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

sirocaの最新情報はこちらでチェック！



siroca公式
Facebook(フェイスブック)

<http://www.facebook.com/siroca.jp>



チームsirocaの
ブログ

<http://ameblo.jp/siroca/>



siroca公式
インスタグラム

<https://www.instagram.com/siroca.jp/>



siroca
サポートストア

<http://siroca.jp/>

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

なお万が一、停電・本機の故障・取り扱い不良によるワインの劣化などがありましても、ワインそのものの補償はいたしかねますので、予めご了承ください。

保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間


このワインセラーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後9年です。
その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

- 修理、使いかた、お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記へご連絡ください。

〈siroca サポートセンター〉 電話： ナビダイヤル  0570-001-469
※上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800
受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日、弊社指定休業日を除く）
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル 5F
インターネットでのお問い合わせ：ホームページ <http://siroca.co.jp/> ※「お客様サポート」のページからお入りください。

- 消耗部品・別売品は、siroca サポートストアからもご注文いただけます。

〈siroca サポートストア〉 <http://siroca.jp/> ※商品により、お取り扱いがない部品がございます。サポートセンターまでお問い合わせください。

サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- ・ サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。